

第241回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成30年9月10日(月) 11:00~12:15

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
小笠原 伸 (副委員長)
青木 敬信
篠田 裕次
新井 啓泰

(2) 欠席委員の氏名 君島 理恵

(3) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
高賀茂 沙緒里 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換
8月5日(日曜日)放送の「村上 RADIO~RUN&SONGS~」について、
試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

TOKYO FM をはじめとする JFN38局で放送した特別番組「村上 RADIO~RUN&SONGS~」。
作家・村上春樹さん自身がディレクターを務め、選曲も自らが担当。
番組では、事前に募集した村上さんへの「音楽に関する質問」を紹介しながら答えていった。
番組は、第2弾・第3弾の放送も決定している。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：村上さんの声をはじめて聴いた。声も話す内容も若い印象だった。

委員：村上さんは偉大な作家だが、偉大ではない身近な「素の村上春樹」を感じられた。

委員：村上さんがラジオで話す機会。それができたという、関係者の努力を評価したい。

委員：若者に聞いてほしい番組。留学やアーティストの話が出てきて、これから何かを表現しようという若者にとって、とても刺激になる素晴らしい番組になったと思う。

委員：アシスタントに坂本美雨さんを起用したというのがおもしろい。
もう少し出演したらよかった。

委員：村上さんは元々音楽もやっていたので、そういった方が選曲するということで、とても興味深い番組だった。

委員：おもしろい上に、村上さん自身がこういったラジオがはじめてという貴重な番組で、ひたすら聴き入ってしまった。

委員：放送時間は夜の7時からだったが、深夜番組のようなくだけた雰囲気よかった。

委員：曲中に村上さんが話をしている部分がある。普通は話をやめて曲を聞かせてほしいが、この番組については、もっと村上さんの話を聞きたいと思うほどだった。

委員：坂本さんの登場は、唐突のように感じた。トーンも違ったので違和感があった。

事務局：素材では、CMをカットしているが、本来はCMのあとに坂本さんが登場する。
編集で、唐突のように感じてしまったのかもしれない。

委員：村上さんの番組を放送するというのは、普段ラジオを聴かない人に聞いてもらうチャンス。放送を知らなくて終わってしまう人もいる。できるだけ宣伝を多くし、SNSでも発信してほしい。

委員：村上さんは、話すことが専門の方ではないので、滑舌や声で聴きとりづらい部分もあるが、それもイメージ通りで、番組の質としては十分成立するものになっている。

委員：「村上 RADIO」というジングルがよかった。

委員：選曲がマニアックすぎなくて、聴きやすかった。

委員：この番組の「村上さんのパーソナルな番組」という当初の意図は十分達成していてよかった。ファンにとっては貴重な機会。次回の番組を楽しみにしたい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を10月15日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 9月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし